

2021年9月28日

近畿日本鉄道株式会社

近鉄レジャーサービス株式会社

NEWS RELEASE

生駒ケーブルと生駒山上遊園地の飛行塔が 「土木学会選奨土木遺産」に認定されました

近鉄の生駒ケーブル（生駒鋼索線）と生駒山上遊園地の大型遊具「飛行塔」が私鉄の観光施策をあかす最古の施設として、公益社団法人土木学会から本日「土木学会選奨土木遺産」に認定されましたので、お知らせします。

生駒ケーブルは、日本最初のケーブルカーとして、1918年に宝山寺参拝の利便性向上のため、鳥居前ー宝山寺間の宝山寺線が開業し、1929年に生駒山上遊園地の開業に合わせて、宝山寺ー生駒山上間の山上線が開業しました。戦時中には生駒山上に海軍基地が設置され、営業を休止した時期もありましたが、駅設備や車両等の更新・改良を重ねながら、営業を続けてきました。現在も、宝山寺や生駒山上遊園地へお越しのお客さまに加え、通勤・通学といった生活路線として沿線のお客さまにもご利用いただいています。

生駒山上遊園地の飛行塔は1929年の開園当初から稼働しており、現存する日本最古の大型遊具といわれています。日本で数々の大型遊具を手がけた土井万蔵氏の代表作ともいわれ、同氏の作品で現存するものは、当園の飛行塔のみです。戦時中の物資不足で日本中のあらゆる金属が回収されていく中、飛行塔は軍の防空監視所として使われたため、奇跡的に存続しました。構造体は開園当初のままで、ゴンドラに乗って回る空中散歩は、山頂でしか味わえない景色で人々を魅了し、その雄姿は今なお世代を超えて愛されています。



宝山寺線車両「すずらん・白樺・ミケ・ブル」



生駒山上遊園地の飛行塔

【土木学会選奨土木遺産について】

公益社団法人土木学会が、土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木建造物の保存に資することを目的として、2000年に認定制度を設立。推薦および一般公募により、年間20件程度を選出している。

別紙

1. 生駒ケーブルについて

(1) 概要

- 開業年月日 : 1918年8月29日
- 運転区間 : 宝山寺線(鳥居前駅~宝山寺駅) 約0.9km
山上線(宝山寺駅~生駒山上駅) 約1.1km
- 高低差 : 466m
- 保有車両 : 宝山寺1号線「ブル」「ミケ」
宝山寺2号線「すずらん」「白樺」
山上線「ドレミ」「スイート」
- 最大乗車人員 : 宝山寺1号線128人、宝山寺2号線125人
山上線128人
- 運転速度 : 時速約11km



開業当時の生駒ケーブル



生駒ケーブル路線図

(2) 歴史

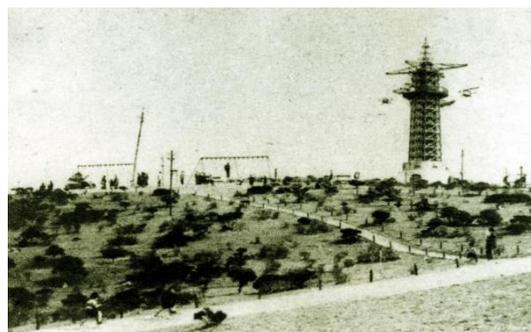
- 1918年 8月29日 鳥居前・宝山寺間の運輸営業開始(宝山寺1号線)
- 1926年 12月30日 鳥居前・宝山寺間複線化(宝山寺2号線)
- 1929年 3月27日 宝山寺・生駒山上間の運輸営業開始(山上線) 生駒山上遊園地が同時に開業
- 1944年 2月11日 生駒山上に海軍基地が設置され全線運輸営業休止(軍用運転は継続)
- 6月26日 宝山寺2号線撤去作業開始(7月撤去)
- 1945年 8月1日 宝山寺1号線、山上線営業再開
- 1953年 4月1日 宝山寺2号線再建
- 2000年 3月18日 新車両4両導入
宝山寺線1号線「ブル」「ミケ」
山上線「ドレミ」「スイート」



生駒山上駅「スイート」

2. 飛行塔について

- 開始年月日 : 1929年3月27日
- 塔高 : 約30メートル
- ゴンドラ : 4機
- 所要時間 : 約5分
- 乗車定員 : ゴンドラ1機6人乗り



開園当時(上)と現在(下)の生駒山上遊園地



以上